

7 月号
VOL. 491

土會奈良



SHIKAI
2016 NARA

表紙のことば

パリ祭（エッフェル塔の花火と凱旋門）



パリ祭：毎年7月14日(祝)はフランス革命を記念した建国記念日をパリ祭と呼ばれる。この祝日には、一年で一度しか見られないシャンゼリゼ大通りでの軍事パレードやエッフェル塔での花火が楽しめる。ダイナミックな打ち上げ花火は一見の価値あり。(写真は1部加工修正) この為この日のパリ市内は多いに盛り上がる。

エッフェル塔：127年前に建てられ骨組みは、強・用・美の備わった本当に美しい建物で、年中無休で最も人気のある観光名所です。展望台から眺めるパリのパノラマ景色は日中も夜景も実に爽快であり、入場料は最上階の展望台までのエレベーターは大人17€。いつも長蛇の列で最低でも60分～3時間待ちを覚悟必要。階段専用入り口は、30分程度の待ち時間で済みます。階段はおおよそ日本のビル28階分、高さ115m、第2展望台まで登ります。エッフェル塔の鉄筋建築をじっくり見て、高さの変化を満喫したい方には階段がお勧めです。

凱旋門：パリに行ったらぜひ見ておきたい、エッフェル塔と並ぶ人気の観光名所。ダントツ人気の真正面のシャンゼリゼ大通り沿いからの凱旋門の屋上観光は穴場スポット。ピークシーズンでも殆ど待ち時間なしで入場出来ておすすめです。一般入場料は9.5€ 必要。屋上までは螺旋階段で登り、高さ約50m。日本のビル約12階分。エレベーターは設置されているが車椅子利用者や身体障害者専用と成っています。屋上からの展望は、高層ビルや高い建物が少ないパリ市内では素晴らしいパノラマ風景が楽しめます。

(写真・文 提供 出原 眞)

情報・広報委員会

委員長	松尾 憲治	
副委員長	折目 貴司	大倉 克之
委員	乾井 哲	水守 寛敏
	松村 泰徳	小松原寛俊
	崎山 泰正	福西 保夫
	福本 保治	藤井 靖彦
	宮浦 重彦	

Contents

- 001 平成28年度 通常総会開催
- 002 平成27年度 委員会活動報告
「青年委員会」「住まいまちづくり委員会」
- 008 日本建築総合試験所
「鋼と建築 第2回「粗鋼生産と建築における鋼の使用量」」
- 010
「2016年熊本地震被災建築物 応急危険度判定参加報告」
- 013 生駒支部
「吉野の森 見学バスツアー」
- 014 橿原支部
「宮崎支部交流会」
- 015 宇陀支部
「住宅設備の勉強会」
- 016 橿原支部
「近江八幡 ヴォーリス建築見学」
- 017
「各支部事業報告」
- 022 教育事業委員会
「建築への旅 ～旅から学ぶもの3委員会 合同見学会へのいざない」
- 024 奈良支部
「スペイン8日間建築研修旅行」
- 025 お知らせ
「平成28年賛助会員名簿」他



平成28年度 通常総会開催



会長 瀧上徳光

5月19日(木)午後4時30分より、奈良県文化会館にて、平成28年度通常総会が多数のご来賓方のご臨席を賜り滞りなく開催されました。

はじめに、物故者に対しての黙祷、会長挨拶、来賓の奈良県県土マネジメント部まちづくり推進局建築課長 武田光哲様よりご祝辞を賜りました。議長には天理支部・奥村利文氏が選任され、出席者63名、委任状434名/会員総数950名により総会が成立し、議事が行われました。

主な議案は、事業報告、会計報告・予算等であり、各議案について慎重な審議の結果、滞りなく決議承認されました。

◆平成28年度 運営方針および事業計画

【会長挨拶】

今日のわが国は少子高齢化社会の到来、労働力不足、財政逼迫、多発する自然災害、社会インフラの急速な老朽化といった大きな問題に直面しています。

社会基盤施設(インフラ)は私たち国民生活を支える基盤であり経済社会の成長を左右する基となるものです。

将来の社会資本の維持や品質確保の実現に向け、建築生産システムにおける省力化・効率化・高度化に通じた生産性向上等の様々な取り組みが求められます。

少子高齢化・人口減少に対応した住まい・まちづくりとしては地域居住機能再生推進事業やスマートウェルネス住宅等の推進事業拡充を図るほか、空き家対策総合支援事業なども創設し環境問題や空き家の保存と再生に取り組む方策も考えねばなりません。

安全な住まい・まちづくりでは耐震対策緊急促進事業の延長、建築材料に関する調査等を進めることも大切です。

優良な住宅ストックの形成と流通促進による住宅市場の活性化では地域型グリーン化事業や長期優良住宅リフォーム推進事業の拡充に加え、住宅ストック維持・向上促進事業を進めなければなりません。

また、災害に対する建築士や建築士会の活動は阪神淡路大震災以降拡がりや深化がみられるものの個別的で断続的な取り組みにとどまることも多かったようです。

今後の災害多発時代にあっては地域コミュニティの防災や復興まちづくり計画にコミットしながら、より一層総合的で継続的な取り組みが求められることとなります。

今、建築士に求められる時代のニーズを素早くとらえ、それに対応できる能力を備えなければなりません。

建築士は高い倫理観とコミュニケーション力、創造力とプランニング力を兼ね備えたマネジメント力を磨くことにより、この時代に生き残っていくことができるのです。

【重点施策】

1. 地域貢献活動の推進
2. 建築士会会員増強運動の推進
3. 建築士の資質の維持・向上施策の推進
4. 建築士制度に係わる事業の推進
5. 関係団体との連携協力

【事業内容】

1. 地域貢献活動に係る事業
 - ◇まちづくり関係団体との協働
 - ◇住宅相談会の実施
 - ◇既存木造住宅の耐震診断事業への協力
 - ◇まちづくりアドバイザー派遣事業への協力
 - ◇景観デザイン賞の開催と表彰
2. 建築士会会員増強に係わる事業
 - ◇未入会建築士への入会促進
 - ◇会員増強のための継続的運動の推進
 - ・スチューデントメンバー制度の推進
 - (建築関連学校学生への建築士会活動への呼びかけ)
 - ◇各支部の増強活動への協力・支援
3. 建築士の資質の維持・向上に係わる事業
 - ◇建築士の講習・研修の実施
 - ◇継続能力開発制度の普及・推進
 - ◇専攻建築士制度の普及・推進
4. 建築士制度に係わる事業
 - ◇建築士試験の業務受託実施
 - ◇建築士定期講習の業務受託実施
 - ◇建築士の登録事務
 - ◇建築士業務環境改善
 - ◇建築基準法等関連法令への対応
5. その他事業
 - ◇コンペ「建築甲子園」の実施協力
 - ◇建築関連情報誌「士会奈良」の発行
 - ◇建築情報サイトの管理運営
 - ◇建築行政への協力
 - ・「違反建築防止週間」「建築物防災週間」事業等
 - ・奈良県被災建築物・宅地応急危険度判定事業
 - ・奈良県住宅・建築物耐震化促進協議会
 - ・なら安全安心住まい・まちづくり協議会
 - ・奈良県産産材関連3協議会
 - ・安全やまとまちづくり県民会議
 - ・新生活生活ビジョン推進事業

◆平成28年度 新規終身会員認定者5名

- 小田 清(橿原)、小林 暁男(天理)、
村田 良彦(橿原)、辻本 悟(高田)、
福山 明(奈良)

◆懇親会

会員、賛助会員、行政や関係団体からの来賓様多数参加のもと、懇親会は会場を隣の部屋に移して開催されました。

瀧上会長の挨拶に続き、来賓の皆様からの祝辞や自己紹介をいただき、植村吉延・奈良県建築士事務所協会会長の乾杯の発声で開演しました。和気藹々の雰囲気の中、米村博昭副会長の一本締めで閉宴となりました。



平成27年度 活動報告

青年委員会

去る5月19日(木)に奈良県文化会館にて、奈良県建築士会平成28年度通常総会にて青年委員会の平成27年度における活動報告をさせていただきました。

平成27年度は計11事業を行いました。

5月にお菓子の家づくりと題して、建築士という職業を子ども達に知ってもらおう体験型イベントを大和高田市にて開催しました。



7月には夏の森と木と家のフェスタに参加しました。会場は奈良公園の登大路園地にて炎天下の下、盛大に開催された2日間のイベントでした。



8月には夏休み子ども木工教室を開催しました。



9月には鉄工組合と合同で見学会を開催しました。また、同月にBIM CAMP in NARAとしてBIMを利用したCADシステムの講習会を開催しました。

11月には三重県と合同で開催している、合同見学会と奈良県建築士会3委員会(教育事業委員会・女性委員会・青年委員会)の合同見学会と見学会の多い月となりました。



12月には近年恒例化しています、模型講習会を開催しました。



1月は合格祝賀会を開催し新しく建築士とされる方を祝福しました。

2月にはイオンモール橿原で開催された、森と木と家のフェスタに参加しました。



3月にはIT活用意見交換会と題して、インターネットを活用した講習会を開催しました。

平成27年度は数多くの事業をさせていただき、青年委員会のメンバー個々のスキルアップに繋がったかと思えます。本年度も昨年以上に意欲的にかつ多くの人に関心を持って頂けるような事業を展開していければと考えています。今後とも青年委員会の活動にご協力よろしく申し上げます。

(記・青年委員会 藤山昭生)



住まいまちづくり委員会

すまいまちづくり委員会からの昨年度の振り返りです。

私たちの委員会は、住宅相談部会、住環境福祉部会、景観まちづくり部会の3部会で構成されています。残念ながら昨年度は住環境福祉部会の活動を推進することができませんでしたが【住宅相談部会】では住宅・敷地に悩みを抱える一般市民を対象とし、建築関連法規の説明、技術的アドバイス、その他情報提供を目的に毎月第4週水曜日に無料住宅相談会を開催し、昨年度は14件の事案について相談を受けた。また99名が登録している相談用閲覧ファイルについて、事務局またはHPでの閲覧数が1387件に達したことが市民の関心の高さを物語っており、本年度も「相談

「住宅相談用閲覧ファイル」の写真



会の利用者増加と内容の充実「建築士の社会的認知度のアップ」をスローガンに掲げ、住宅相談会・閲覧ファイルのPR・広報手段を積極的に模索し事業の周知度をさらに高めていくことを目標に活動してまいります。【景観まちづくり部会】におきましては、既に登録されているヘリテージマネージャーのスキルアップを目的とした講習会の実施と昨年度来奈良市文化財課と協働しています歴史的建造物の掘り起こし調査の継続実施が大きな活動でした。

専門家スキルアップ講習会スケジュール

＜日程と内容＞		講師内容 (AM)	講師内容 (PM)
第1回	9月27日 日	10:00~16:30 奈良県文化会館 (奈良市) 奈良県の文化財の最新事情 1, 5H	登録文化財申請書等の概要 3, 0H
第2回	11月1日 日	10:00~16:30 歴史的建造物の改修調査・見学 2, 0H	指定文化財等の見学 3, 0H
第3回	11月15日 (未定) 日	9:00~16:30 八木公民館他 (橿原) 登録文化財申請書の作成講習 3, 0H	登録文化財申請書の作成講習 3, 0H
第4回	1月17日 (未定) 日	10:00~16:30 奈良文化会館 他 (奈良) 耐震診断設備等の講習 2, 0H	耐震診断設備等の現場見学 3, 0H
第5回	2月末 (未定) 日	10:00~16:30 奈良文化会館及びその他 景観シンポジウム等 2, 0H	景観とヘリテージマネージャーの意義と役割 2, 0H
第6回	3月初旬 (未定) 日	9:00~17:00 和歌山県 他府県のヘリテージマネージャーによる講演会及び視察 5, 0H	

スキルアップ講習会は全6回計20時間におよぶカリキュラムで構成されており登録文化財申請書の作成実習には兵庫県でヘリテージマネージャーとして活躍されています稲上文子氏より調査について野帳や写真の撮り方、所見の書き方をはじめ申請書のまとめ方を細部に渡り指導を受けました。また伝建地区である和歌山県湯浅町において兵庫県和歌山県建築士会共催のまちづくりセミナーにも参加し多彩な意見交換も行いました。今年度におきましても本事業

は継続して推し進めたいと準備をしています。また奈良市の歴史的建造物の掘り起こしについては、昨年の富雄地域の5地区に引き続き平城地域の5地区（押熊・中山・山陵・秋篠・歌姫）で延べ56名のヘリテージマネージャーにより575件の調査を行いました。この地区は、農村であった旧集落にも住宅地が広がり、新興住宅が混在するようになっていますが、比較的昔からの町並みを残している地域でもあります。そして、今回の調査結果から、隣接しながらもそれぞれの地区が異なる様子を独自の特徴として近世近代と経年変化を重ねていることが読み取れます。行政より事前に各調査地区の自治会長に協力を依頼し、地域住民周知のもと実施した調査は歴史、文化、伝統などについて地域住民による講話を聞く事前学習からはじまり、3名1組の調査班が築50年以上経過する歴史的建造物の意匠形態における特徴を細かく捉えたものです。さらに、調査のみに留まるのではなく、結果の報告会を実施し、行政・住民とともに地域や建物について歴史的、建築的見地から一緒に考察する機会を設けたことにより、建物ひとつひとつは個人の財産であることはもとより、町の財産でもあるという認識ができるようになりました。そして、それらを「地域文化財」と位置づけ、守り続けていくことの大切さや、改築を行い、新しい建物に生まれ変わったとしても、地域の建築的特徴を残した伝統的な意匠・材料・工法を町という面的なスケールで、後世へと伝承していく意義を確認しあえたのではないかと考えられます。その上で、その歴史的文化的建築的背景を理解したヘリテージマネージャーが、専門家としての役割を地域や個人に対して果たす責任は大きいと改めて自覚し、より一層の努力をしなければいけないと思います。

平成27年度・奈良市内における近世近代の歴史的建造物の掘り起こしによる地域活性化事業



(記・住まいまちづくり委員会 見邨佳朗)



奈良県土木マネジメント部
まちづくり推進局建築課長 武田光哲様



議長 奥村利文氏



大阪府建築士会
会長 岡本森廣氏

第2号議案

正味財産増減計算書

平成27年4月1日 から 平成28年3月31日まで

(単位:円)

	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,407,000	1,407,000	0
基本財産受取賃料	1,407,000	1,407,000	0
受取入会金	28,500	69,000	-40,500
受取入会金	28,500	69,000	-40,500
受取会費	16,639,700	12,361,750	4,277,950
正会員受取会費	12,509,700	10,708,150	1,801,550
準会員受取会費	193,800	108,000	85,800
賛助会員受取会費	920,000	870,000	50,000
参与会員受取会費	510,000	510,000	0
過年度会員受取会費	2,506,200	165,600	2,340,600
事業収益	12,556,210	14,346,714	-1,790,504
受取地方公共団体補助金	0	405,000	-405,000
受取国庫助成金	1,335,000	1,869,000	-534,000
受取民間助成金	600,000	1,070,000	-470,000
受取寄付金	0	0	0
受取利息	10,666	10,941	-275
雑収益	1,290,328	483,913	796,415
経常収益計	33,857,404	32,023,318	1,834,086
(2) 経常費用			
事業費	29,688,855	31,244,067	-1,555,212
給与手当	8,361,187	7,799,882	561,305
臨時雇賃金	0	42,000	-42,000
福利厚生費	4,533,430	4,961,691	-428,261
会議費	96,928	11,447	85,481
旅費交通費	4,916,495	4,237,417	679,078
通信運搬費	1,873,837	1,863,412	10,425
減価償却費	1,182,791	1,126,453	56,338
消耗什器備品費	276,858	113,342	163,516
消耗品費	853,092	1,219,980	-366,888
修繕費	138,257	81,532	56,725
印刷製本費	1,775,179	2,716,576	-941,397
光熱水料費	430,285	479,693	-49,408
賃借料	757,719	1,671,810	-914,091
保険料	57,710	82,063	-24,353
諸謝金	2,169,068	2,461,764	-292,696
租税公課	811,449	590,813	220,636
支払負担金	168,909	266,514	-97,605
支払助成金	125,000	50,000	75,000
委託費	118,800	181,440	-62,640
交際費	470,866	817,811	-346,945
雑費	570,995	468,427	102,568
管理費	6,116,801	6,794,627	-677,826
給料手当	1,435,184	1,439,506	-4,322
臨時雇賃金	0	0	0
福利厚生費	248,186	272,537	-24,351
会議費	332	367	-35
旅費交通費	62,060	41,953	20,107
通信運搬費	110,112	119,509	-9,397
減価償却費	169,456	170,140	-684
消耗什器備品費	47,538	19,088	28,450
消耗品費	62,333	91,724	-29,391
修繕費	23,743	11,368	12,375
印刷製本費	8,100	30,140	-22,040
光熱水料費	59,905	71,647	-11,742
保険料	37,800	37,880	-80
租税公課	209,924	228,160	-18,236
交際費	34,194	37,336	-3,142
賃借料	0	0	0
支払負担金	3,557,210	4,164,940	-607,730
支払助成金	0	0	0
支払寄付金	0	0	0
委託費	0	0	0
雑費	50,724	58,332	-7,608
経常費用計	35,805,656	38,038,694	-2,233,038
当期経常増減額	-1,948,252	-6,015,376	4,067,124
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
雑損失	86,763		
国庫助成金返還額	58,683	152,053	-93,370
経常外費用計	145,446	152,053	-6,607
当期経常外増減額	-2,093,698	-6,167,429	4,073,731
税引前当期一般正味財産増減額	-2,093,698	-6,167,429	4,073,731
当期一般正味財産増減額	-2,093,698	-6,167,429	4,073,731
一般正味財産期首残高	99,182,734	105,350,163	-6,167,429
一般正味財産期末残高	97,089,036	99,182,734	-2,093,698
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	97,089,036	99,182,734	-2,093,698



奈良県土木マネジメント部
まちづくり推進局長 金剛一智氏



(一社)奈良県建築士事務所協会 会長 植村吉延様
懇親会 乾杯前のご挨拶

貸借対照表

平成28年3月31日現在

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
現金預金	4,716,816	2,299,465	2,417,351
現金	262,506	146,524	115,982
普通預金	3,977,937	2,122,868	1,855,069
郵便貯金	476,373	30,073	446,300
未収金	2,486,116	2,994,000	-507,884
仮払金	45,000	0	45,000
立替金	679	8,879	-8,200
流動資産	7,248,611	5,302,344	1,946,267
土地	37,712,750	37,712,750	0
基本財産合計	37,712,750	37,712,750	0
建築文化高揚事業資金積立金	30,159,902	30,153,478	6,424
建築士会館維持積立金	6,212,353	6,211,035	1,318
特定資産	36,372,255	36,364,513	7,742
建物	28,071,012	28,071,012	0
建物付属設備	9,654,988	9,654,988	0
器具備品	237,492	0	237,492
ソフトウェア	315,000	315,000	0
減価償却累計額 △	-17,174,989	-15,822,742	-1,352,247
其他固定資産	21,103,503	22,218,258	-1,114,755
資産の部合計	102,437,119	101,597,865	839,254
未払金	2,319,967	1,734,466	585,501
前受金	2,744,000	506,200	2,237,800
預り金	284,116	174,465	109,651
負債の部合計	5,348,083	2,415,131	2,932,952
其他一般正味財産	97,089,036	99,182,734	-2,093,698
正味財産の部合計	97,089,036	99,182,734	-2,093,698
負債及び正味財産合計	102,437,119	101,597,865	839,254

暑中お見舞い申し上げます (一社)奈良県建築士会参与会々員

<p>(株) 浅沼組 (奈良営業所) 奈良市三条本町4-32 中室ビル ☎0742-26-5225 大西宏次</p>	<p>大倭殖産(株) 奈良市藤ノ木台1-2-15 ☎0742-43-9191 矢追盛賢</p>	<p>(株) 奥村組 (奈良支店) 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル ☎0742-22-5001 朝日務</p>	<p>(株) 尾田組 奈良市高畑町738-2 ☎0742-26-6011 尾田芳信</p>
<p>(株) 鍛治田工務店 (奈良本社) 御所市150-3 ☎0745-65-2131 鍛治田八彦</p>	<p>(株) 崎山組 橿原市南八木町2-3-35 ☎0744-22-2353 寄山雅由</p>	<p>清水建設(株) (奈良営業所) 奈良市大宮町7-1-33 奈良センタービル ☎0742-34-1510 正井洋</p>	<p>大日本土木(株) (奈良営業所) 奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル ☎0742-22-3071 高田正晃</p>
<p>(株) 中和コンストラクション 桜井市桜井281-22 ☎0744-42-9313 大浦基嗣</p>	<p>(株) 中尾組 桜井市桜井553-1 ☎0744-42-3567 中尾隆成</p>	<p>中村建設(株) 奈良市三条大路1-1-48 ☎0742-33-1001 中村光良</p>	<p>(株) 平成建設 橿原市曾我町352-4 ☎0744-22-3800 吉崎雅之</p>
<p>(株) 楨峯建設 高市郡高取町丹生谷1061 ☎0745-67-0084 楨峯豊美</p>	<p>松塚建設(株) 宇陀市榛原福地610-1 ☎0745-82-1371 松塚幾善</p>	<p>村本建設(株) 北葛城郡広陵町平尾11-1 ☎0745-55-1151 市岡武</p>	<p>(株) 森下組 吉野郡大淀町檜垣本1589 ☎0747-52-3535 森下秀城</p>
<p>(株) 山上組 奈良市鳥見町1-1-3 ☎0742-44-0063 山上武宏</p>			

暑中お見舞い申し上げます

役員有志

井上建築工房アルス 大和郡山市北郡山町158-6 大和第3ビル204 0743-51-0286 井上慶治	岡本設計 五條市本町1-7-30 0747-22-0282 岡本光弘	檜岡設計事務所 生駒郡三郷町信貴ヶ丘 1-1-10 0745-72-4490 檜岡稚則	坂下建築設計事務所 天理市三島町167 0743-62-0306 坂下恭浩
(株)榎谷設計 奈良市西ノ京町101-1 0742-34-1461 中元綱一	(株)福本設計 奈良市大宮町6-4-21 0742-34-2800 西峯隆司	(株)福本設計 奈良市大宮町6-4-21 0742-34-2800 福本保治	測上設計 奈良市秋篠町765 0742-47-4100 測上徳光
エムタック 桜井市浅古903 0744-45-1097 松尾憲治	松塚建設(株) 宇陀市榛原福地610-1 0745-82-1371 松塚幾善	ビル・エイド(株) 橿原市葛本町118-1 0744-35-6639 森田恵介	(株)山本工務店 桜井市芝1362 0744-42-5441 山本規子
(株)関西工務店 大和高田市材木町1-3 0745-52-1515 吉田泰造			

(50音順)



1. はじめに

今回は、建築で使用されている鋼の量について述べてみたい。建築における最も古い鉄の使用事例として思いつくだのは、法隆寺で使用されている鉄釘や、出雲大社（古代神殿）の3本の杉で構成される巨大な心御柱、宇豆柱などを束ねた鉄製の帯状金具などである。このように、相当古い時代から木造建築物に鉄が活用されているが、本稿は鋼構造における鋼の使用量に関するものである。

建築における鋼の使用部位は主に梁と柱である。梁と柱に使用される鋼材の代表的な断面形を図1に示す。梁はほとんどH形鋼である。柱には図1のすべての断面形の鋼材が使用されるが、現在では角形鋼管が最も多い。

圧延H形鋼は鋼材を1000℃ほどに熱して柔らかくしておいて熱間圧延という工程を経て製造される。他方、鋼管は常温で板を曲げて成形される。これを冷間成形という。製造範囲をはみ出すような巨大な寸法の部材、例えばせいが1mを超えるH形鋼や板厚40mmを超える角形鋼管などは複数の厚板を溶接して組立てられる。

以下では、鋼構造と呼ばれる構造種別の建物で使用されている鋼の量について、いくつかのデータを紹介する。

2. わが国の粗鋼生産と用途

鋼構造（鉄骨構造）は、柱や梁などの主体構造部材に鋼を原料とする鋼材を用いている構築物を指す。日本の鋼構造建築の建設は19世紀末から始まるが、当初は米、仏などからの輸入鋼材が用いられていた。鋼材は鋼板、山形鋼などで、これらをリベットで組み立てて柱や梁に使用されていた。一例を図2に示す。このような組立て部材は、今でも一部のJR駅のプラットホームで見られる。

20世紀に入って、旧三井本館（1902、1929に再建）を始め東京駅舎（1914）や国会議事堂（1936）など、歴史的建造物に鉄骨が使用されるようになるが、一般の民間建物にも国産の鋼材が広く使用されるのは1945年の第2次世界大戦終了後のことである。

鋼構造の建設は産業基盤、特に鉄鋼生産（粗鋼や形鋼）と密接な関係があり、社会経済状況とも無縁ではない。第1回で記したように、鋼の大量生産はベッセマーの転炉法の発明（1856）に端を発するが、わが国における鋼の大量生産は、1901年の宮宮八幡製鉄所高炉の火入れ（稼働開始）に始まる。

1950年以降2015年までの粗鋼（転炉、電炉で精錬された鋼）生産量¹⁾と建築鉄骨加工量の推移、主要な形鋼の製造開始年、などを図3に示す。この図からも明らかのように、高度経済成長期は粗鋼生産が飛躍的に伸びている時期と重なる。日本初の超高層建築である三井霞ヶ関ビル（1968）の建設は、それに先立つ圧延H形鋼（梁材；1961製造開始）



図1 部材断面形の代表例

図2 組立1形断面

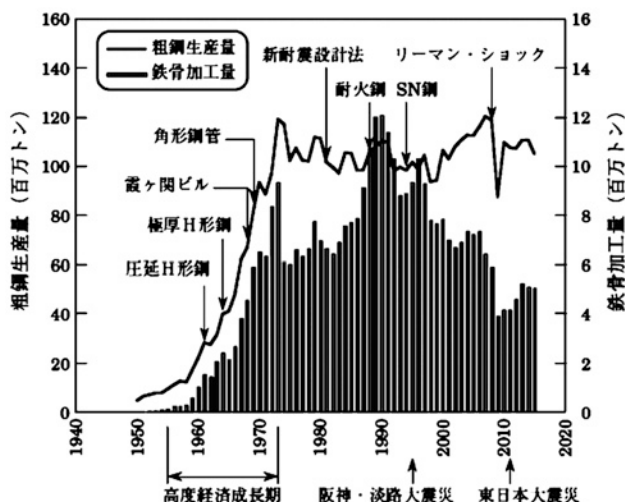


図3 日本の粗鋼生産量と鉄骨加工量

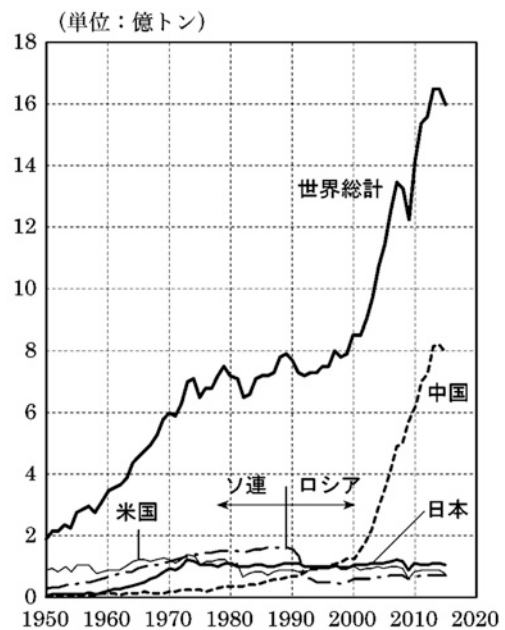


図4 主要国の粗鋼生産量と世界総計

略歴

井上一郎 (いのうえ かずお)

(一財)日本建築総合試験所 副理事長・試験研究センター長。工学博士。
1946年福岡県生まれ。1970年九州大学大学院工学研究科建築学専攻修了。
日立造船(株)鉄鋼設計部、大阪大学工学部・助手、助教授、京都大学大学院
工学研究科・教授、岡山理科大学総合情報学部建築学科・教授を経て現職。

賞罰

1997年 日本建築学会学会賞(論文)受賞。1998年 日本鋼構造協会奨励賞
論文部門受賞、2008年 日本鋼構造協会論文賞受賞

や極厚H形鋼(柱材)の製造によって可能となったものである。現在の建築鉄骨加工量は年間500万トン程度で、これはバブル期(1986~1991)に比べると半分以下である。

図4は世界と主要各国の粗鋼生産量の推移¹⁾を表す。日本の高度経済成長期が終った1970年以降2000年ごろまで、世界の粗鋼生産量は7億トン前後で推移している。その間、日本と米国の生産量は1億トン前後であって、両国で世界の3割程度を占めていた。しかし、日本の鉄鋼メーカーの技術援助を受けて建設された上海宝山鋼鉄(現宝山鋼鉄)で1985年に高炉が稼働し始めると、1996年には中国が世界のトップに立つ。特に2005年以降の中国の急速な粗鋼生産拡大の結果、現在世界の粗鋼生産量は16億トンに達している。2005年以降しばらく、世界の鉄鉱石や石炭の資源価格が跳ね上がったことは記憶に新しい。

現在、量的には世界の生産量の半分を占め、2008年のリーマン・ショックの時には生産量が落ち込まなかった中国の粗鋼生産が、2015年に初めて前年比を下回っている。それでもGDPは7%近く伸びたそうだが、眉に唾をつけておかねばなるまい。

直接輸出を除く普通鋼(ステンレスなどの特殊鋼を除く)

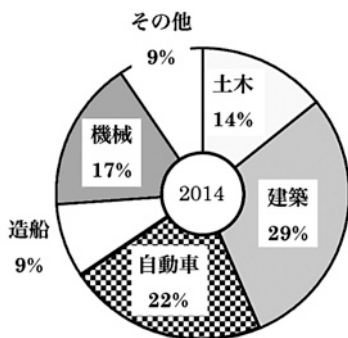


図5 普通鋼材需要別消費量比率(2014年)

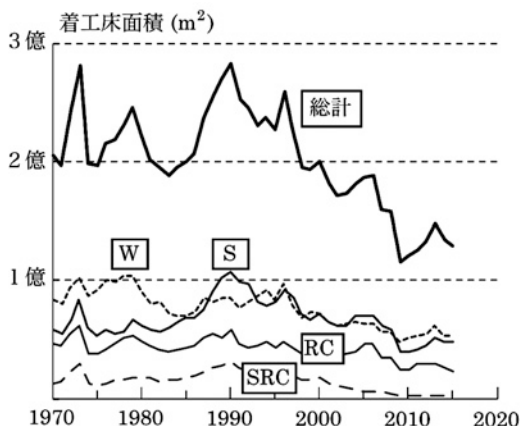


図6 構造種別ごとの着工床面積の推移

国内消費量は5千万トン強である。図5はその需要別消費量比率²⁾をグラフ化したものである。土木・建築の消費量は、以前は国内消費の半分を占めていたが、公共投資の減少ともなってその比率が徐々に低下している。

3. 構造種別着工床面積

鋼構造(S)、木造(W)、鉄筋コンクリート造(RC)、鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC)の構造種別ごとの1970年以降の着工床面積の推移³⁾を図6に示す。図7は直近の2015年における構造種別ごとの着工床面積比であり、全国と奈良県のデータを示している。全国では鋼構造は木造と並んで着工床面積が4割ほどを占めているが、奈良県の特徴は、全国平均に比べて木造の比率が高く、鋼構造、RC造の比率が低いことである。

全国の着工床面積の総量は、1990年前後で2.5億平米前後であるが、近年はその半分程度で、国民一人当たり約1平米となっている。この傾向は粗鋼生産量の推移とは明確な対比をなす。建築生産は公共投資や景気の動向を直接的に受けるのであろうか。

ところで、鋼構造といえば、超高層や大スパン架構など、華やかな構造物が話題になりがちであるが、その着工床面積の9割強は5階建て以下の中小規模建物が占める。

鋼構造には木造と共通点がある。どちらも予め加工された部材を現場で接合して組立てられるので、接合部(仕口)が存在する。鋼構造の接合手段は主にボルトと溶接である。設計は溶接のほうが簡単であるが、施工や検査はボルト接合のほうが単純で、接合品質のばらつきが小さく、信頼性は高い。

参考資料

- 1) 日本鉄鋼連盟HP (<http://www.jisf.or.jp/>) ; 統計・分析
- 2) 日本鉄鋼連盟鉄鋼統計専門委員会 : 鉄鋼統計要覧 2015
- 3) 国土省HP (<http://www.mlit.go.jp/>) ; 建築着工統計調査報告

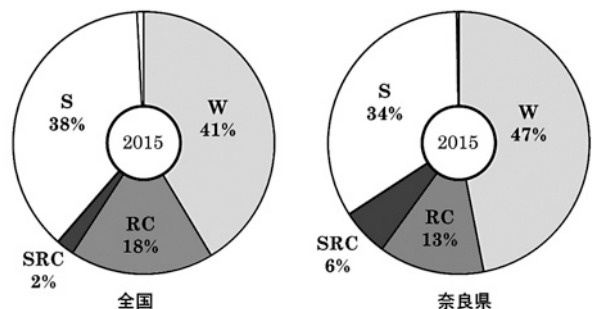


図7 構造種別ごとの着工床面積比(2015年)



2016年熊本地震被災建築物 応急危険度判定参加報告

～奈良県第3班として3日間、73棟を調査・判定～

■はじめに

4月14日午後9時26分にマグニチュード(M)6.5、震度7の大きな地震が発生。そして、気象庁も予想していなかったその規模M7.3、震度7の本震が16日午前1時25分に発生し、震度7級の地震が連続して起きるといふ異例の事態となりました。

4月25日、奈良県より「熊本地震について奈良県からも被災建築物応急危険度判定士を派遣しているところです。」とのメール連絡が応急危険度判定士として登録しているメンバーにありました。直前の連絡ではありましたが、活動期間が4月29日～5月1日と休日であったため是非参加したいと思い、参加表明をして連絡を待ちました。26日には国から正式要請があったとの連絡があり、高速バスや新幹線、ホテル、会社のボランティア保険の申請などの手続きに入りました。27日には現地での宿泊場所も決まったとの連絡があり、現地や国、県の方は大変混乱が生じている様子でしたが、我々奈良県の第3班メンバーは応急危険度判定を行うために熊本に入ることとなりました。

現地にて調査活動を行ってみるとまだまだ未調査地域があり、人手も不足しており、熊本市の判定活動に貢献できたのではないかと思います。貴重な経験となりましたので、「士会奈良」を通じて皆様に情報共有させていただきたく簡単ですが報告いたします。

■調査実施概要

奈良県第3班の派遣概要を下記に示します。

○派遣期間・メンバー

- ・平成28年4月29日～5月1日
- 三和住宅株式会社 高井様
- 大和ハウス工業株式会社 折目

○調査地域と調査結果

- ・熊本市南区城南町鰐瀬地区、宮地地区の73棟
- ・危険 [赤] 16棟 (21.9%)
- ・要注意 [黄] 31棟 (42.4%)
- ・判定済 [緑] 26棟 (35.6%)

○費用：日本建築防災協会へ請求

- ・旅費、宿泊費、食糧費
- ・調査中の移動は高井様の車にて移動

○工程

- ・4月28日(金) 移動
- 私は、夕方から移動し博多入り、翌朝熊本へ移動
- ・4月29日(土) 7:30
- 熊本市役所駐輪場8階に集合、受付、調査開始



初日は、各地から集まった派遣員の受付が行われた



調査やメンバーの所属などをパソコンにより入力



←熊本市内を90余りの対象地域に分けて、調査を実施

- ・4月29日(土)、30日(日)
- 長洲町健康福祉センターに宿泊
- お風呂は施設になかったので、近くの温泉へ
- ・5月1日(祝) 現地判定、集計後帰奈

■調査地域：熊本市南区城南町鰐瀬地区他

我々が調査を担当したのは、南区城南町の鰐瀬地区^{わにせ}でした。震源地の益城町より断層沿いに南西約10kmの地域で、もともとは下益城郡であったが、市が政令指定都市となる時点で編入合併した町です。古代、サメが泳ぎ回る入江ということから、鰐瀬という名前がついたとの由来の通り、近くに貝塚もある様な軟弱地盤の地域のため、結構な被害がありました。



南区城南町の位置（地図は Google Map より引用）

■調査結果

○家屋被害の明暗を分けたのは、地盤の強弱（堆積地盤か岩盤か）のようでした。また、法面の土留め工事の工法の重要性も実感いたしました。ブロック積みや石積み擁壁は地震に弱いということが実感できました。地盤沈下しているところは地震でかなりの被害を受け、堅固な建物でも、地盤と一緒に動いてしまうという被害を受けた家屋もありました。



○この地域の基礎の立ち上がり部はコンクリートブロックが多く使用され、多くの住宅で基礎の損壊が見受けられました。しかし、土地に余裕があり1階の床面積がかなり大きく、平屋又は中2階の家が多いために、多くの住宅がB判定の傾きのある損傷までには、至らなかったと思われます。



○この地域での赤判定（危険）は、日本瓦の落下の危険性有が大半でした。おそらく古い家屋のため、殆どの屋根瓦が土葺き工法というのが原因です。



○我々が見た被害の大きい地域は、益城町、東区、嘉島町、南区、中央区の順でした。中央区は比較的被害が少ないとはいえ、熊本市役所でも、40人程度の被災者が寝泊まりされていました。橋の損傷（通行止め）や目の前の熊本城がかなりのダメージを受けていました。



■調査に参加しての感想

地震発生から2週間後に現地に赴くことができ、派遣任務である応急危険度判定活動に付随して、現地の方々の声や生活状況をつぶさに見聞きすることができましたので、簡単に我々の感想をまとめてみたいと思います。

○地盤沈下が原因で家が大きく傾いた家の方は、昼間は住宅におられるが、夜は余震が心配で未だ車中泊をされていました。おばあちゃんは元気な方で、エコノミー症候群にならない様に、毎日きっちり体操をしておられるそうですが、避難所生活者で無いこれらの方についても、今後充分なケアと支援が必要となることを痛感しました。

○応急危険度判定は、罹災証明とは全く違う意味合いのものですが、それと勘違いされる方がかなり多く、赤色の判定を要求される方、又は赤色判定をむしろ喜ばれている方がおられる様に感じました。また、応急危険度判定士を、リフォームの営業マンと勘違いされている方もおられ、被災地での悪徳リフォーム営業が多いと思われるため、行政としてそれらについてもフォローする必要がありそうです。

○今回ローラー作戦対象地域外でも、個別判定依頼のあった地域の被害も甚大であったため、熊本市役所の調査地域の範囲は、適切とはいえなかった(ただ、少ない人員での調査のため、仕方ない面がある)。また、応急判定なのに、発災2週間後にまだ判定中とは時間が掛り過ぎているとも感じました。それだけ、被害の地域が広範囲であった証拠であるが、現場(自治体)と調査費用にあまり予算を掛けたくない国との意識のズレを感じることになりました。

○家の傾き調査は、高井様が900長さの水平器を用意していたため、下げ振りで調査するより格段に速く進みました(木造の場合、Aランク1/60=15mm以下、Bランク1/20=45mm以下)。また、被災者が直接目で見ることができ、安心されるような感じも受けました。

○我々建築士は、地震に強い家づくりを願い、これまでも設計業務を通じて実践しているが、激震地の惨状を見ると、お客様の生命・財産を守るという建築士の使命を再認識し、技術者が妥協しないことの大切さを改めて感じました。また、余震に対して威力を発揮する制震装置や免震装置についても、今後はおお客様のニーズも更に高ま

るものと思われます。

○熊本城のボランティア観光ガイドをされている御爺さんもうらっしゃり、仲間(70名程)全員が職を失ったので、これから他に趣味を探すとされていました。被災者の生きがいづくりも重要な貢献となることを実感しました。

○修理をすれば使えそうな家でも、修理に1000万円は掛るといわれ、後を継ぐ者がいないので、小さい家に建て替えるという人もいらっしゃいました。良い住宅なのに、勿体ないと感じるとともに、あきらめの気持ちを感じ、胸が痛みました。

■最後に

応急危険度判定は、被災者の心のケアをするのも仕事の一つであることが分かりました。建築のプロに、自分の家はこんなになってしまったと聞いて欲しいし、見て欲しい。また、このまま住んでいて大丈夫か?本当に心配されているので、適切なアドバイスも必要とされています。ノルマさえなければ、本当はゆっくりと被災者の心に寄添い、外観調査だけでなく、内部にも入り、修理や修理不可などのアドバイスもできるボランティアがあっても良いのでは、と感じました。

以上、一緒に参加した高井様の感想や意見も含めた内容として、派遣要請を受けてボランティア活動を実施した応急危険度判定の報告とさせていただきます。

(記・郡山支部 折目貴司)

お知らせ 応急危険度判定士の講習案内

平成28年度奈良県被災建築物応急危険度判定士養成講習会は平成29年1月中旬開催予定です。



生駒支部 吉野の森 見学バスツアー

4月23日(土)、生駒支部では、「吉野の森 見学バスツアー」を開催いたしました。

当日は、朝から気持ちのいい快晴となり吉野の山の散策にふさわしいお天気に恵まれました。

生駒支部 伏見支部長の案内で吉野の川上村地区に向かう車中、吉野林業の歴史には欠かせない人物、土倉庄三郎についてのお話を聞きました。

庄三郎は、今から170年ほど前に吉野郡川上村で山林地主の家に生まれ、わずか16歳で家業を継ぎ林業の発展に力を注いだそうです。山深い吉野川上流の川上村。この地の資源を川下まで届けるには、道路が必要でした。庄三郎は、山林の評価額の1/20を道路建設の為に投資いただける様、地主達を説得し、また、自らも莫大な私財を投入し道をつくったそうです。また、吉野山の桜の木の伐採話が持ち込まれたのですが、庄三郎は、自腹で木々を買って桜景観を守りぬいたそうです。この、土倉庄三郎の御蔭で、吉野の林業、そして、吉野の桜は、守られてきたとの事でした。

バスは、いよいよ吉野の森へと到着し、まずは、樹齢60年ほどの森へと足を進めました。60年?と聞くには、やや細身の樹木が生い茂る中、吉野林業についてのお話です。

吉野の木は、密植で1haあたり10000本ほどの木が植林されているそうです。成長の度合いに合わせて間伐し、20年後、30年後も同じように木を成長させるために目利き出来る事がとても大切なことになってくるそうです。密植・多間伐。これが吉野林業の特徴との事です。



次は、間伐された森へと進みました。下草が生え、あまり手を入れる必要のない時期です。この辺りでは、借地制度、守山制度という制度があり地主が変わってもお世話をする人は変わらないので、それぞれの木のこれまでの歴史を守り続ける事が出来ているとの事でした。

又、木の倒し方についてもお話くださいました。木は倒すとき山の斜面の上の方に向けて倒すらしく、その様にした方が衝撃が少なくなるようです。その際、切株の上に倒れるように倒し水分を出すため通常2ヵ月から3ヵ月はそのままにして乾燥させます。木は少し浮かすようにし虫が入らないように葉がらししていくのも、この地の特徴の様です。

更に足を進め、230年ほどの木々の森へと進みました。

進んだ場所は、最近、山を返すために木を切り運び出された場所で切り株などだけが残る場所でした。切り株の一部は、異様な形になっており、どうやら彫刻家の方などが作品をつくるのに持って帰られたりするそうです。

奈良の木は、地域認証材ということで、その含水量や強度を一本一本検査しシールを貼って出荷しているらしいのですが、そのひと手間があり他の材料と比較するとやや高価になっているそうです。そこで、奈良県産材証明制度というのが別があり、地域認証材の様な一本一本の検査はないので、それほど高価にはならないとのこと。しかしながら、この様な環境で育てられた吉野の木は、間違いなく強度についても問題なく安心できる木なので伏見建築事務所では、その木を使っているとの事でした。

お昼ご飯を「あきつの小野スポーツ公園」で気持ちよくいただき、一路 桜井市の泉谷商店へと向かいました。

こちらでは、木の製材・加工をされており、まずは、木の材の取り方について分かりやすく丁寧にお話をいただきました。最近では、住宅の新築着工件数も減っておりリフォームなどの内装材としての要望が増え、芯の部分は違うが一本の木を板材として加工するとのこと。

その板材を乾燥させるのには、大きなひと手間がかかっており木の表を重ねあわせ木の裏に棧をかまして、又、木表を合わせた2枚板を乗せての繰り返しで木を積み重ね自然乾燥を約2ヵ月程度するそうです。そのように重ねることによって木の棧の跡が表に残らずきれいでしっかりした間違いのない材料になっていくとの事でした。



その後、人工乾燥機を見せていただき、その大きさと開けた瞬間のとてもいい木の香りに圧倒されてしまいました。

最後に木の節の加工についてご説明いただき体験までさせていただきました。本当にありがとうございました。

一日、その木の成長から材料として出荷されるまでの事を見聞きし、体感出来、さらに木に対する愛着を持つことのできた素晴らしい一日でした。



(記・生駒支部 寺岡春恵)



橿原支部 記念交流会

橿原支部では、建築士会橿原支部30周年記念事業の一つとして、建築士会宮崎支部の方に奈良へ来ていただき、記念交流会を5月13日・14日の日程で行いました。

昨年は、橿原支部が宮崎市へ訪問し、宮崎支部の方々に盛り沢山のおもてなしをしていただきましたので、その感謝の思いも含め、奈良をご案内させていただきました。

1日目の13日は、女人高野で有名な室生寺見学、重要伝統的建造物群保存地区である宇陀松山の街並み見学へ行きました。

室生寺では、僧侶の方が室生寺について詳しく説明していただき、昨年に室生寺入口となる仁王門の2階から古い仏像2体が発見されたとのことで、お寺の方でもまだまだ発見されていない文化財があるのだと驚かされました。



宇陀松山では、宇陀市職員の方がボランティアで宇陀松山について説明していただきました。街並みには多くの通りと交差点があり、角地の建物屋根の桁側がメイン通りになることなどを教えていただき、他地域の古い街並みを見学するときの参考にもなる情報をたくさん教えていただきました。



宇陀松山見学後、橿原市内へ戻りそれぞれの支部の活動報告会と意見交換をしました。橿原支部の活動報告では、今井町の空家調査と活用などについて発表し、宮崎支部の活動報告では、「みやざきマチカツ」をテーマとして宮崎中心市街地でのシンポジウムの開催や、「マチには思いが必要!」とのことで、子どもたちともしっかりとマチを知り、マチを良くするためにはどうすれば良いのかを考える景観教室についての内容を聞くことができ、今後の橿原支部活動の参考になりました。また、熊本地震で被災した建物の応急危険度判定についてもお話を聞くことができました。熊本地震では、宮崎支部から応急危険度判定士がいつでも現場へいける体制を整えていたとのことですが、司令塔となる熊本の役所や建築士会本部も被災し、連絡が取れず動くに動けなかったと聞き、奈良でも同様のことが起こった場合を想定して、対応を検討しなければいけないと感じました。



報告会の後は、今井町の古い家を改修した懐石料理屋「まゆう」で懇親会をおこないました。宮崎支部の方はさすが九州の方だけあってお酒が強く、陽気で、親睦を深めるなか「やっぱり、奈良は日本の心だー! 歴史の中心だー!」と宮崎支部の方から感嘆の言葉を頂き、楽しい時間を過ごさせていただきました。その後、宮崎支部の方には今井町の「嘉雲亭」に宿泊していただきました。





宇陀支部 住宅設備の勉強会

2日目の14日は、朝から今井町の散策を行いました。

午後からはバスで北上し、奈良公園で大仏殿を見学しました。今回大仏殿を案内してくれたお坊さんはユーモアのあるかたで東大寺の成り立ちや大仏殿の裏話など話してくださいました。



その中で「最近外国人観光客の間でも大人気の大仏殿の柱ぐり（大仏さまの鼻の穴と同じ大きさで通ると無病息災のご利益がある）ですが、言い出しっぺは東大寺ではない」他にも、「大仏さまの背中には扉があって体の中には写経がいっぱい入っている」「もともと東大寺は南都六宗の学校で参拝ができるようになったのは最近である」へーと驚く話からありがたい話まで本当に楽しい時間でした。



前日からのハードスケジュールはなんのその、そのまま二月堂まで見学に行きました。二日間でどれくらい歩いているんだろう……って感じてましたが、宮崎の方々は元気いっぱい！記念交流会を楽しんでいただけたのではないかと思います。

二日間の交流会で、宮崎支部の方と親睦を深めることができ、両支部とも楽しい時間を過ごすことができました。宮崎は降水量が少なく暖かく冬でもめったに雪が降らないと聞き、その気候もあってか、陽気でユーモアがあり一緒にいて楽しい方々ばかりでした。また、宮崎へ伺わせていただけたらと思います。

（記・橿原支部青年委員会委員長 佐藤智之）

（記・徳本 豊）

平成28年2月20日（土）午後1時半から例年の宇陀支部勉強会を開催いたしました。本年度は宇陀市及び宇陀郡・東吉野にお住まいの一般住民の皆様も一緒に参加していただき、支部活動をより身近に感じて頂きたいと思っておりました。

又、会場は宇陀市榛原総合センターをお借りし出来るだけ参加しやすい方式をとってみました。

今回は住宅設備の勉強と言う、大題でエコ給湯・ソーラー発電・トイレ関係を重点に講習会を実施してみました。講師といたしましてパナソニックの住宅設備関係の方にお越し願ひ専門の技術を学習しました。

我々専門家でも、技術進歩が早くてなかなか実情に追いつけなくなっています。今回は少しでも一般の方々と共に知識を吸収したいと思っておりました。

講習終了後、一般の方々を踏まえての質疑応答の時間を持ちました。ソーラー発電の経済性とか耐用年数等・多数の意見が有り、我々も知らなかったことがどんどん質問されました。

約2時間の講習会の予定でしたが、結構質疑等の意見交換が有り盛り上がりましたので予定より30分程度延長されました。

ただ、参加人数が少なく我々も、もっと広報活動をすればよかったなと反省しています。また次回も頑張って面白く・内容の充実した建築講座を企画しようと思っております。

（記・宇陀支部 小松原寛俊）





橿原支部 30周年記念事業 研修会

日時 平成28年3月13日(日)

●近江八幡 伝統的建造物群保存地区

～ヴォーリス建築見学～

まず、はじめにびっくりしましたのが、伝統的な景観保全の取組みが始まったのが、1970年代からという事でした。近年の景観保全計画でもそこまで、歴史がある取組みがあるというのは聞いたことがありませんでした。

実際に、保存地区の場所を散策してみると、立派な建造物ばかりでした。その中でも目が引かれたのが、ヴォーリス建築の建物でした。日本家屋のような見た目ではなく、洋風な見た目、外壁にレンガを使用し、暖炉があるという事で、他の家とは全く違う建造物でした。ヴォーリス建築が今もなお、愛されているのは、日本の風土となじんだ親しみやすく清明な様式を備えていたからだと感じました。



現在の八幡堀は大変きれいで、街になじんでいるように見えましたが、そこに至るまでには、八幡市の青年部、自治会が保全活動をした歴史があるから、現在の八幡堀があり、現在も綺麗な状態であるということがわかりました。

●草屋根

和洋菓子の製造販売を手がけるたねやグループ「ラ コリーナ近江八幡」を見学しましたが、自然と融合した建築であり衝撃をうけました。今もなお建築中の建物もありました。また、草屋根全体に水が流れ、草自体が枯れないようなシステムになっていました。季節により草の色が変わる為に、四季で見て楽しめると感じました。



●近江八幡市 八幡堀 (ハチマンボリ)

JR近江八幡駅から歩いて15分程度で到着します。安土桃山時代に作られた人工の水路で全長6kmに及びます。豊臣秀次が八幡山城を築城した際に市街地と琵琶湖を連結するために造られたものです。



最後に、今回の見学では、全体的に自然と融合した建物、街となじんだ八幡堀など他では感じる事ができない体験をしました。現在は都心部など高層マンション、建物が多くありますが、歴史的な建造物など、次世代に残し引き継いでいかなければいけない建物や、単に川、山を埋め立てたり、壊したりするのではなく、自然をいかした建築物も必要だということを感じることができました。

今後は旅行などで行った先など、建築物にも注目し関心を持っていきたいです。

今回の研修会を企画していただきました(一社)奈良建築士会 橿原支部の皆様、有難うございました。

橿原支部賛与会員

(記・タカラスタンダード(株) 奈良営業所 前川隼也)

今では、近江八幡の観光の中心となっていて、平日でも多くの観光客が来ていました。



各支部報告会

■奈良支部

平成28年度報告会（総会）の報告

奈良県建築士会奈良支部の平成28年度の報告会（総会）を5月11日（水）18時30分から奈良ロイヤルホテル別館で開催させていただきました。出席者は、24名で当初の予想より賛助会員を含め多くの方々に出席していただくことができました。中華料理を楽しみながらの報告会は、支部長挨拶で年間の事業を振り返っての思い出や、支部長自身で企画調整をしていただいた研修旅行の苦労話、我々役員が企画した賛助会員への事業のことなど幅広い話題でした。又、顧問に乾杯の発声をお願いし、支部会員への丁寧な労いの言葉をいただいて始まりました。お酒を酌み交わしながらの報告会は、式年遷宮伊勢神宮の見学会報告、スペイン建築研修旅行の報告をメインにさせていただきました。それぞれ練りに練って多くの方々の協力を得て行った事業であり、スライドを交えて、わかり易く委員長、若手・女性の参加者から報告していただきました。伊勢神宮見学会の報告は、三重県建築士会の丁寧な協力を得て実現できた事業であり、技術者交流の大切さが伝わる報告となりました。スペイン旅行の報告は、前回会報誌でも報告させていただいた内容でしたが、この報告は参加させていただいた当社スタッフによる報告で、見ていて恥ずかしい場面もありましたが全般的にはわかり易く説明させていただいたと思っています。又、同じくスペイン旅行に参加された先輩女性会員による女性の視点でのわかり易い解説が、凄く丁寧で思い入れがあり、迫りに満ちた内容で、実務を長年されて研究熱心な先輩技術者に頭が下がる印象に残る報告となりました。最近の事業は忙しい中での企画運営でコンパクトになりがちの部分もありますが、何でもメールで伝える現在において、人と人の直接の会話は、エネルギーのやり取りであり、心が伝わるものであると考えていますので、気軽に参加できて、会員や賛助会員が情報交換とコミュニケーションが図れる、小さな事業も大切ではないかと思っています。しかし、今回報告させていただいた事業は、組織としての奈良支部の利点を活かした若手の発想と経験者の判断力で実現できたまとまった内容の事業報告であり、会員数が多い奈良支部の事業報告としてはうまくできたと思います。

（記・奈良支部 中元綱一）

■郡山支部

4月20日（水）午後6時～ 於 季節料理 翁
支部役員

顧問	井上 慶治	立辻 利治	
相談役	亀岡 俊典	仁田 晴夫	
支部長	徳本 雅代		
副支部長	杉村 道也		
副支部長	折目 貴司		
事務局	何左 昌範		
会計	栞谷 進		
監査	井上 慶治	立辻 利治	
幹事	植松 正英	小笠原香代	尾川 佳永
	倉原 猛	澤田 貢	辻本 賢司
	辻本 希	東川 正樹	平田 正裕
	吉岡 修一	和田 修	



平成27年度には、「大和郡山建物探訪部会」が6年前より行ってきた聞き取り調査等のまとめとして、「未来につなぐ！～城下町の歴史的建造物を活かしたまちづくり」と題した調査報告書を冊子として発行しました。2月には大和郡山城ホールにてパネル展示を行い、3月には街歩きと市内洞泉寺町にあります旧川本邸住宅にてフォーラムを開催しました。また、上述のとおり徳本支部長のもと新体制で活動させていただくこととなりました。今後は、新体制のもと親子祭りへの参画、見学会の開催、建物探訪部会としての調査・報告から利活用に向けた活動を実施していく予定です。以上を参加の支部会員の皆様にて報告をし、盛会のうちに事業報告会は終了しました。

（記・郡山支部 東川正樹）

■生駒支部

4月23日(土) 17時00分～ 生駒セイセイビル

平成28年度支部役員

顧問 奥田 尚史

支部長 伏見 康司

副支部長 伊阪 洋 中尾 克治

幹事 岩城由里子 栗原 義幸 小嶋 明美

寺岡 春恵 中村 和範 本保万貴子

三木 一美 水守 寛敏 森田 善友

本部理事 伏見 康司(支部推薦)

事業報告会の概要を報告いたします。平成27年度事業報告が行われ、平成28年度の支部体制、活動方針および事業計画が発表されました。その他の協議の中で、直前に発生した熊本地震の被害状況を受け、住宅相談や建築講座を通じて耐震化の重要性や災害に対する備えの大切さを、生活者に対する啓発活動を盛り込むことで決定されました。

今年度は「Econet いこま 環境フェスティバル」・「あかりセミナー」・「平群町あすのす土曜講座」などの継続事業のほか、避難所運営ゲーム「HUG」の生駒支部版を新規事業として立ち上げることが提案されました。多くの被災者は避難所での生活を強いられますが、避難所を運営する立場になったとき、殺到する被災者や突発的な事象に対してどのように対処するかは課題となります。「HUG」とは、平成19年に静岡県が開発した防災ゲームです。Hinanzyo(避難所)、Unei(運営)、Game(ゲーム)の頭文字を取ったもので、参加メンバーと意見交換などをしながらゲーム感覚で避難所の運営を学びます。現に、熊本地震においても、支援物資の運搬などで学生たちがリーダーとなり、避難住民を支えているニュースも報道されています。先ずは私たちから、続いて事業体職員や地域住民と協働して実施すると思われます。

報告会終了後、場所を「月日亭 生駒店」に移して懇親会が開催され、私も参加させていただきました。地元で暮らす人々が身近に感じる建築士として、伏見支部長を中心にがんばっていきましょうと思います。

(記・生駒支部幹事 水守寛敏)



平群町あすのす土曜講座で熱弁をふるう伏見支部長

■天理支部

5月13日(金) 午後5時15分～

ウエルカムハウスコトブキ

午後6時15分～ 懇親会

支部役員

顧問 佐田 春樹 柏原 功司

相談役 奥村 利文

支部長 坂下 恭浩

副支部長 森馬 康之 溜谷 剛

会計 和田 欣也

監査 奥村 章行

幹事 相賀 正夫 板垣 篤 庄田 尚代

中嶋 孝 西浦 康次 平川 善久

宮浦 重彦 杵野 良二 森 茂雄

米杉 三伸



平成28年度支部会計報告会は出席者36名(本人出席17名委任状19名)の出席で開催されました。

27年度の事業報告、会計報告続いて28年度役員改選(上記の支部役員)、そして28年度事業計画及び予算案すべて原案通り承認されました。報告会終了後、新入会員の紹介があり温かい拍手を頂きました。

その後の懇親会では、来賓を代表して並河天理市長・西峯副会長よりご挨拶を頂きました。西峯氏の挨拶では県建築士会の会員数に触れられ、多い時には1800名いた会員が現在では970名位に減少しておりこの状況を改善していくには支部の役割は大きく、今後とも支部活動に期待すると励ましのお言葉を頂きました。

一般社団法人なら建築住宅センターの西浦茂氏の乾杯のご発声により宴に入りました。会場内では料理とグラスを片手に近況報告・情報交換等、交流を図る参加者の姿が各テーブルで見受けられました。楽しく賑々しい懇親会は前支部長奥村氏の中締めの挨拶で締めとなりました。

(記・支部長 坂下恭浩)

■桜井支部

平成28年5月7日(土)午後3時30分から、「あるぼーる」レンタルスペースにて、「平成28年度通常総会」が開催されました。



開会宣言後、物故者の黙祷をささげました。続いて森田支部長より挨拶があり、熊本の震災について新耐震基準の建築物がどの程度耐えられたのか検証する必要性について話をしました。前年度の事業報告と決算報告、本年度の事業計画と予算案が審議され、滞りなく承認されました。



続いて新たに支部長に就任された、山本規子新支部長の就任の挨拶があり、地域活動の大切さについて話されました。最後に米村副会長より、空き家問題に関して、空き家調査のマニュアルが完成したことのお知らせがありました。



総会終了後、桜井市理事の林功氏より「桜井市のまちづくりと建築士の使命」についての講演があり、「奈良モデル」として県と桜井市の連携協定によるまちづくりの現状について話され、景観ガイドラインに基づいた建築物のデザインに協力を呼びかけられました。

講演終了後は懇親会を開催し、和気あいあいの雰囲気の中、終了しました。(記・桜井支部 大倉克之)

■檀原支部 平成28年度【第30回】事業報告会

檀原支部では、平成28年4月28日(水)午後5時30分より、市内久米町の檀原オークホテルにて『事業報告会』を開催しました。浅田理事が司会進行を務め、紀本理事を議長に選出したのち、前年度の「事業報告」・「会計報告等」を担当役員が報告を行い、続いて、本年度の「事業計画案」・「予算案」・「役員の変更案」・各案についても審議していたが全議案は満場一致で承認されました。



【本年度の事業計画】

1. 30周年記念事業計画の実施
2. 支部活動を活発化にする為、各委員会の積極的な活動を図る
3. 本部の事業計画への積極的な参加協力を図る
4. 支部組織の強化の為、会員の増強を図る
5. 会員相互の知識と技術の向上を図る
6. 地域の街づくりへの積極的な協力を図る
7. 会員相互の親睦を図ると共に、他支部との交流を深める
8. 行政の委託事業に積極的な参加を図る(住宅相談他)
9. その他支部活動に必要な事業を実施する

引き続き、ご来賓・会員・賛与会員の皆様の御出席をいただき、盛大に懇親会を開催させていただきました。

来賓のご挨拶の中では、当団体・当支部への期待が熱く寄せられ、会員一同一層の責任の重さを感じた次第です。

支部では、昨年度、市の委託業務である(住宅・建築相談会)や姉妹都市宮崎支部との交流会を実施し、11月には中南和6支部との記念ゴルフ大会・そして本年3月には、近江八幡市の伝統的建造物群保存地区見学研修会も実施しました。



本年度は30周年記念交流事業として、5月には宮崎支部をお迎えする予定です。改めて支部創立30年の節目の年にあたり、諸事業を推進し、支部の一連の活動を通じてその役割を広く社会に発信していきたいと考えております。

また支部の一層の飛躍のため、その歴史を後世に確実に伝えるため、そして、建築士の社会貢献活動を広く社会に発信するために、11月6日(日)に、檀原万葉ホールで「30周年記念式典」をおこなう予定となっております。その会場では記念講演会も開催の予定です。

支部長を初め、支部会員が丸となって成功に向け取り組んでまいりたいと思います。

会員の皆様を初め、関係諸団体の一層のご支援、御協力をお願い申し上げます。事業報告会の報告とさせていただきます。

(記・檀原支部 崧山雅由)

■高田支部 第44回高田支部事業報告会・懇親会

開催日時 平成28年5月13日(金) 16:30~17:30

開催場所 まなびやの森・かつらぎ(葛城市)

出席者 19名(委任状66名)

今年度高田支部は、葛城市にある「まなびやの森・かつらぎ」大研修室にて事業報告会を行いました。葛城市長山下和弥様、県議会議員西川均様、衆議院議員奥野信亮様秘書田中様、奈良県建築士会会長瀧上徳光様、奈良県高田土木事務所 辻本長彦様にご来臨を賜りました。



事業報告会では、27年度の事業報告や決算・監査報告、28年度の事業計画案・予算案等が審議され、議案は全て可決され、滞りなく事業報告を終えることができました。

今回は役員改選の時期にあたり全会一致で的場清支部長が再任及び役員幹事も前年度に引きつづき再任されました。活動案として1. 会員資質向上の勉強会、講習会等の開催、2. 会員及び賛助会との交流会、親睦会等の開催、3. 会員及び賛助会員の入会拡大等について、4. 対外事業を本会と連携して開催、5. その他を進めていくことが確認されました。

報告会終了後、同施設に隣接するレセプションルームにて懇親会が行われました。(一社)なら建築住宅センター理事長西浦重明様の乾杯の御発声の後、歓談がはじまりその後個々で意見交換が繰り広げられ、最後に賛助会員村本建設高田幸伸様の万歳三唱で懇親会を華々しく閉じました。



(記・高田支部 植田康夫)

■宇陀支部

4月15日(金)、午後6時より、宇陀支部報告会が、宇陀市美榛苑において開催しました。まず27年度の事業報告並びに決算報告が審議可決されました。又、本年の新役員を選出が行われ樫岡支部長が新支部長に選ばれました。

昨年度は2月に一般市民の参加を交えて住宅設備の勉強会を開催しましたが、宣伝不足もあり参加者が予想より少ない人数での開催となりましたが、より一層の呼びかけで本年度も行いたいとおもっています。

報告会終了後、懇親会に入り、来賓の瀧上会長・事務局長・なら建築住宅センター様より、ご祝辞いただき出席者も話が弾み、和やかな時間を過ごさせていただきました。

今西支部長、ご苦労様でした。

(記・小松原寛俊)



〈新役員〉

顧問 松塚 幾善
相談役 今西 清秀
支部長 樫岡 稚則
副支部長 西峯 隆司・小松原寛俊
会計 太田 幸雄

■吉野支部 平成28年度 事業報告会

4月25日(月) 下市町 千石荘 午後5時30分～

支部役員

相談役 西本 輝 平 道也

支部長 上平 久居

副支部長 小川 富大 (兼 会計)

来 賓 なら建築住宅センター理事長 西浦 重明様
奈良県建築士会 会長 淵上 徳光様
奈良県建築士会 事務局長 鹿沼 高秀様

出席者 合計11名

支部長 挨拶

平成28年4月14日以降に発生しました熊本地震におきまして、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、被災地域の日も早い復興をお祈りいたします。

今回は地震についてお話しします。私の年齢は62歳、ではこの期間にどれぐらいの巨大と言われる地震があったと思いますか？今回の熊本地震、2011年の東日本大地震、2004年新潟県中越地震、1995年阪神・淡路大震災、等々、記憶でさかのぼると数件しか思い浮かばないのではないのでしょうか？しかし、調べてみると、マグニチュード6.5～9クラスの巨大地震だけで、62年でなんと32回、約2年に一回、日本のどこかで発生し甚大な被害を及ぼしている事になります。我々に直接関係する東南海・南海地震も終戦前後の時期に2年ごと（1944年・46年・48年）に3回立て続けに起こってから2004年56年ぶりに起こっています、そろそろのような気がしてなりません、皆様自身の安全を守るため、建物の耐震補強、発生時家の中での安全場所の確認・確保、タンス等の固定、避難経路等を再確認しておいて下さい。

吉野支部 事業報告

支部活動報告・今年度の活動計画について、皆様に貴重な意見を伺い、充実した審議をさせていただきました。懇親会では、なら建築住宅センター理事長 西浦重明様、奈良県建築士会会長 淵上徳光様・事務局長 鹿沼高秀様の参加を頂き、近況報告ならびに、親交を深め、なごやかな内に時間も忘れ大いに盛り上がりました。皆様、お忙しい中、ご出席頂きどうもありがとうございました。今後共ご指導よろしくお願い致します。（記・吉野支部長 上平久居）



■五條支部

5月7日(土) 午後6時～

柿の葉ずしヤマト 五條本店

支部役員

相談役 田鍋 誠一 内原 一誠 武田 正文
本間 照義 出野 光男 浦東 保

支部長 岡本 光弘

副支部長 坂田 至伸

副支部長・会計 佐古 誠

監事 東 康朝 辻 元二

理事 藤井 靖彦 大和 良樹 田中 卓也

田中 信道 洞 尚樹 藤井 貴広



平成28年5月7日(土)、午後6時から、『事業報告会』を、市内五條町の柿の葉ずしヤマト五條本店で開催しました。

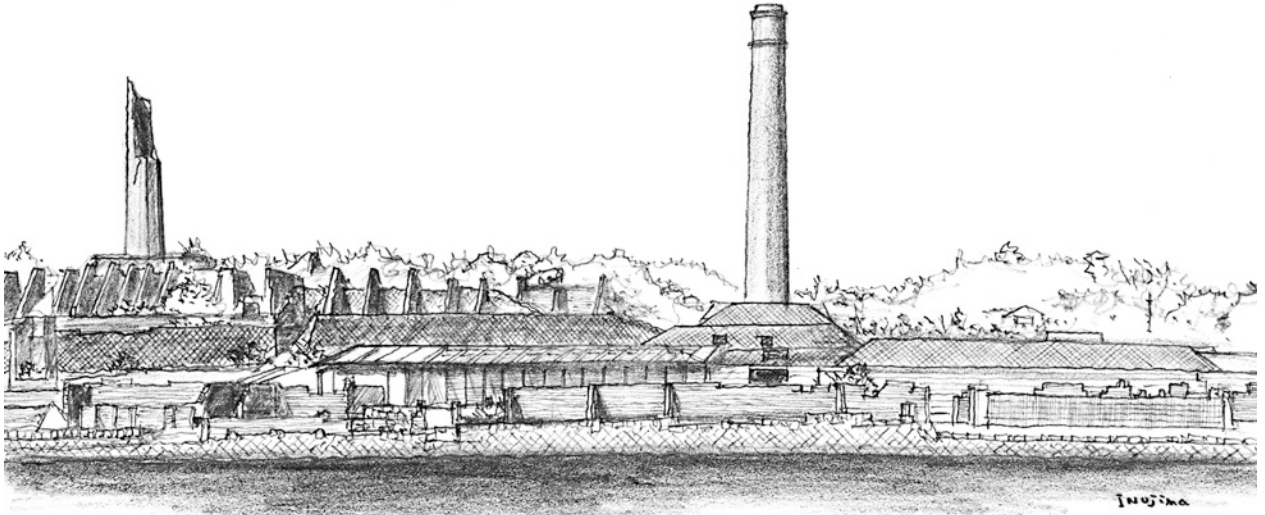
なら建築住宅センター 鍛冶谷様、奈良県建築士会 紀本副会長と、鹿沼事務局長を迎えての開催となりました。事業及び決算報告並びに今年度の事業・予算案も滞りなく承認され、また、役員改選も同時に審議され、岡本新支部長が選任されました。その後、和やかな雰囲気の中、懇親会がおこなわれました。

(記・五條支部 藤井靖彦)



教育・事業委員会 建築への旅～旅から学ぶもの

3委員会合同見学会へのいざない（9月3、4日開催）



建築を学ぶ最良の方法は過去の名建築への旅、すなわちグランドツアーと言われ、古来、旅の体験から得た知識や感覚の集積が、自身が志向する建築の本質を切り開いていく原動力になる。

例年、女性委員会・青年委員会・教育事業委員会の共同で1泊2日の研修見学の旅を開催し、今年は9回目の企画となるそうです。毎年開催される恒例行事でありながら、参加者が減少がみで募集定員を大きく割り込む事もあったようですが、今一度、建築にたずさわる者にとって「旅から学ぶこと」の重要性に向き合いたいと思います。

忙しくて時間が無い、他に優先しなければならない用事があるなど参加できない理由は多くあるでしょうが、もう行った所だからとか、またいつでも行けるというような、後ろ向きの理由なら、どうかそんなものは捨ててほしい。

かつてこんな事を言った人がいます。

「旅は8回、楽しめる！」

同じ場所でも春夏秋冬、季節が変われば見える景色は違う。誰と行くのか。家族との旅行、気の合う仲間との旅か、一人旅の場合もあるでしょう。おのずと目的も行動も変わり、見るものも見え方も違ってくるという事です。

もっといえば、同じ場所でも日中と夕暮れ時、陽が沈み、あたりが灯った後、街並みや建築が見せる表情は違う。

強い日差しの下と雨の日でも、建築が醸し出す雰囲気は大きく変わってしまうことは多々あります。

もっともっと言うと、時間軸で捉えたと若い頃に見て感じた事と歳を重ねてから見て感じるそれは、やはり違った印象を与えてくれて、新しい気付きがあったりするものです。自分も街並みも建築も歳を重ねているのだから…

こんなふうに考えると旅は無限に愉しめるのであり、建築への旅は、「もう行った。」「いつでも行ける。」という感覚ではなく、訪れるチャンスがあるなら、その時行くべきなのです。建築士にはそんな野性の衝動こそが必要。

今年度の3委員会合同見学会は岡山方面へ、岡山市街と犬島へ向かいます。例年と少しばかり志向を変えて、一般に公開されている公共建築をただ見学するにとどまらず、訪れる地域で活躍する建築士を訪ね、その地に拠点を置き、その場所の風土に適った建築を創出する術として何が大切なのか、どのように向き合うべきかを学ぼうという主旨で、岡山市在住の建築家・神家昭雄氏の自邸とアトリエ（仕事場）を訪問させて頂き、話を伺うという行程を組み込んでいます。

神家氏は主に住宅建築の設計に取り組み、現代の住宅に伝統的な和のエッセンスを息づかせ、地域風土に呼応する住宅を多く手掛けられています。

また一方で地域において大切に受け継がれてきた古民家を再生させ現代生活に適した住居や店舗などの施設として蘇らせる活動をされています。



それらの手法と生みだされた建築、その仕事ぶりは高く評価され多くの賞を受賞されると共にメディアに取り上げられる存在です。奈良県建築士会員としては、地域に密着し、その場所を読み解き風土に適った建築を生み出す事で定評のあるこの建築家から学ぶものは多くあるはず。

その他には旧閑谷学校、旧野崎家住宅など国宝・国指定文化財に指定される歴史的建築、レーモンド設計による昭和初期モダニズム建築から、SANA設計による現代建築、犬島では新進気鋭の三分一氏設計による近代化遺産をリノベーションした美術館などを巡るバラエティに富んだ建築見学になり、参加者は決して損する事のない充実感につまれる旅になる事、まちがいなし！



Junko Fukutake Terrace (設計：妹島和世+西沢立衛)

地域に根ざし、学内外の人々が親しみと誇りを持つため場として利用されている岡山大のカフェテリア。初日のランチはここで頂きます。



ノートルダム清心女子大学 (設計：アントニン・レーモンド)

近代建築の保存問題はこれからの重要課題ですが、この建築は、往時の姿を留め、今なお同じ用途のまま現役で使われている貴重なモダニズム建築。



旧閑谷学校 (国指定特別史跡)

精密な工法と職人の技量・心意気が堪能できる、備前焼瓦

の屋根と名物の石塀のディテールに閑谷では括弧してほしい。



旧野崎家住宅 (国指定重要文化財)

塩業と新田開発で財を成した野崎家が、その気宇に合わせて次々と築いた豪壮な民家



犬島精練所美術館 (設計：三分一博志)

かつての産業によって傷ついていた小さな島をアートの島として再生させた、在るものを活かし無いものを設えた美術館。犬島では妹島氏らによる家プロジェクトも見学できます。

フィリップ・ジョンソンが「建築は頭で理解するものではなく、腸 [はらわた] で感じるものだ。」と言っています。

岡山の地で、時代背景もデザイン性もコンセプトも違うこれらの建築たちが伝えているものを、皆さんの腸で、思う存分味わって頂けたら幸甚です。

詳細な案内と募集要項は8月の会報誌に同封させていただき予定ですので、意識高き建築を愛する多くの会員の参加を待っています。

(9月3・4日に開催、バス貸切り近鉄奈良駅前発着)

締め切りを過ぎてからこの頁の投稿をお願いし、ご協力頂いた情報・広報委員会の皆様、無理を聞いて頂き、お手間を取らせてすみませんでした。ありがとうございます。

最後に建築にたずさわる全ての人に勤めることのできる、常に適切な箴言で貴重な頁の最後を締めくくる事にしよう。

「旅に出よ！」

(記・教育事業委員会 中尾克治)



奈良支部

スペイン 8 日間建築研修旅行

「スペイン 8 日間建築研修旅行」に参加してきました。
3月18日（金）から3月24日（木）までスペインで奈良支部主催の建築研修が開催されました。

【1日目 バルセロナ】



（若井支部長）

今回の目的が建築研修かどうかは知りませんが、超一流の建築家の建物や芸術家の作品などを見学致しました。

マドリッドにある世界遺産サグラダファミリアを見学、見た瞬間に感動でございます。

【サグラダファミリア】



外観がすごくても構造的に大丈夫なのか、教会として用途はどうかと心配する事もなく、完璧な芸術作品だとおもいました。



（豊かな感性や情操が養えるのかも）

ガウディは他にも作品を残しているのですが、頓挫したコロニアル・グエル教会も見学する事ができました。



他にも沢山紹介したいのですが、ガウディのグエル邸、ミース・ファンデルローエの作品は割愛でございます。

【4日目 奈良市の姉妹都市でもあるトレド】



トレド市はスペイン中央部に位置する古都で、三方をタホ川に囲まれた美しい町です。スペインの首都マドリッドからは日帰り訪問でき、「オルガス伯の埋葬」などで知られる画家エル＝グレコ（1542年頃生～1614年没）が活躍した町としても知られています。

トレドの繁栄は6世紀に西ゴート王国の都となったことから始まりました。8世紀にはイスラム勢力がイベリア半島を支配下に置いたことからトレドはキリスト教の軍事力、イスラム教徒の農業、建築、工芸等に関する知識や技術、ユダヤ教徒の化学、医学、金融などに関する知識が一体となり、高い文化水準を誇りました。

1085年、レコンキスタ（国土回復運動）によりトレドは再びキリスト教勢力の支配下におかれ、1479年のスペイン王国成立後トレドは都として繁栄しました。

1561年首都がマドリッドに移され、トレドは政治・経済の中心地としての役目を終えましたが、司教座があることからスペイン・カトリックの中心地として現在に至っています。また、ダマスキナド（金銀象眼細工）という工芸品や刀剣の産地としても有名です。

【6日目 首都マドリッド】



（ゲルニカのある美術館へ別行動）

家族との絆を深めるとともに、建築や土会の活動を知って貰う為にもこのような機会を増やして頂ければと思います。芸術は人々に深い感動と喜びを与えるばかりでなく、豊かな心の育成という重要な教育的要素を含んでいるのではないかと考えます。（記・青年委員会 岡田卓佳）



お知らせ

Information

●事務局休業日のお知らせ

(一社)奈良県建築士会事務局は、下記の期間をお盆休業日とさせていただきます。
8月13日(土)～8月15日(月)

●訃報

猪飼 悟氏 (橿原支部) 5月
ご冥福をお祈りいたします。

新入会員のご紹介 『よろしく』

氏名	支部	〒	住所 (自宅)	勤務先
堀本 祐司	高田	636-0073	北葛城郡河合町広瀬台1-14-10	建築検査機構(株)
三好 豊	奈良	631-0811	奈良市秋篠町1122-31	

平成28年度賛助会員

士会の各活動は次の方の賛助を得て行われています。

会社名	〒	住所	TEL
(株)浅沼組 奈良営業所	630-8122	奈良市三条本町4番32号 中室ビル	0742-26-5225
(有)アユミ建工	530-0047	大阪市北区西天満3丁目4-28 トータス西天満501	06-6311-3131
(株)インテコ	630-8122	奈良市三条本町1番86-4号	0742-30-5655
(株)上埜タイル	635-0071	大和高田市築山117-1	0745-22-2306
大倭殖産(株)	631-0044	奈良市藤ノ木台1-2-15	0742-43-9191
(株)奥村組 奈良支店	630-8241	奈良市高天町38-3 近鉄高天ビル	0742-22-5001
(株)尾田組	630-8301	奈良市高畑町738-2	0742-26-6011
(株)鍛冶田工務店	639-2216	御所市150-3	0745-65-2131
(株)木村建設	632-0058	天理市成願寺町208-1	0743-67-1703
共同精版印刷(株)	630-8013	奈良市三条大路2丁目2番6号	0742-33-1221
(株)きんでん 奈良支店	630-8133	奈良市大安寺6-20-8	0742-62-8781
クマリフト(株)	550-0003	大阪市西区京町堀1丁目12番20号	06-6445-1011
ケイミュー(株)近畿営業開発室	540-6013	大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー13階	06-6945-8126
(株)建築資料研究社日建学院奈良支店	630-8114	奈良市芝辻町2-10-16 ことやビル2階	0742-34-8771
小松ウオール工業(株)奈良営業所	630-8115	奈良市大宮町7-1-33 奈良センタービル2階	0742-32-1311
(株)櫻井	639-3114	吉野郡吉野町大字丹治15番地1	0746-32-0563
三和シャッター工業(株)奈良統括営業所	630-8452	奈良市北之庄西町2-9-10	0742-61-8575
(株)渋谷	633-0007	桜井市外山186-1	0744-43-1567
(株)城田建築設計事務所	630-8003	奈良市佐紀町1番地	0742-33-5585
新世紀建工(株)	639-0231	香芝市下田西3-9-16	0745-77-4348
新日本法規出版(株)大阪支社	540-0037	大阪市中央区内平野町2-1-12	06-6947-0695
積水ハウス(株)奈良支店	630-8012	奈良市二条大路南1丁目2番33号	0742-35-7311
(株)総合資格 奈良支店	631-0822	奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル4階	0742-30-1511
(株)たかの建築事務所	637-0041	五條市本町1丁目7-11	0747-22-3232
(株)田原建設	637-0071	五條市二見1丁目1番4号	0747-22-3591
(株)中和コンストラクション	633-0091	桜井市桜井281-22	0744-42-9313
TOTO(株)奈良営業所	630-8001	奈良市法華寺町190-1	045-522-1921
(株)都市企画設計コンサルタント	634-0005	橿原市北八木町1丁目1番8号 橿原中央ビル	0744-23-7717
トリスミ集成材(株)	637-0014	五條市住川町1297	0747-26-6664
(株)中尾組	633-0091	桜井市桜井553-1	0744-42-3567
奈良県建築協同組合	634-0811	橿原市小綱町9-8	0744-22-5115
奈良不二サッシ販売(株)	630-8452	奈良市北之庄西町1-12-3	0742-62-4111
(株)日経BP	108-8646	東京都港区白金1-17-3 NBFプラチナタワー	03-6811-8245
(株)伸構造事務所	639-0225	香芝市瓦口2166 フロンティアビル	0745-71-2200
(株)福本設計	630-8115	奈良市大宮町6-4-21	0742-34-2800
(株)フジテツ	630-8434	奈良市山町645	0742-61-2277
不二熱学工業(株)	542-0081	大阪市中央区南船場2-1-1	06-6261-2436
(株)榊谷設計	630-8042	奈良市西ノ京町101-1	0742-34-1461
松田電気工業(株)	635-0064	大和高田市栄町4-33	0745-52-1115
松塚建設(株)	633-0204	宇陀市榛原福地610-1	0745-82-1371
村本建設(株)	635-0822	北葛城郡広陵町大字平尾11-1	0745-55-1151
(株)明新社	630-8141	奈良市南京終町3-464	0742-63-0661
(株)山上組	631-0065	奈良市鳥見町1-1-3	0742-44-0063
YKKAP(株)関西支社奈良支店	636-0247	磯城郡田原本町阪手661-1	0744-34-5577
(株)ランド・エコ	639-1028	大和郡山田市田中町818-4	0743-54-0418

編集後記

4月14日午後9時26分に熊本で地震が起きました。16日午前1時25分にも震度7という考えられない地震が起き、今だに余震が続いています。

今、想定外の災害が続出しています。私は、日頃から地震に強い建物と心掛けていますが、さて、どこまでの構造にすれば良いのか、考えさせられます。耐震基準以上の構造にすると、お金が掛かるし、絶対大丈夫という保障がありません。熊本の震災は、新しい構造基準の木造建物も、2回目の地震で倒壊したものがありません。

又、建物が倒壊して、避難している被災者は、これからどのようにして、生活していくのか、自分がその立場に遭遇したらどうなのか、考えさせられます。

毎年、想定外の降雨により川が

氾濫し建物が流され、土砂崩れにより家がなぎ倒され死者がでる災害が起こっています。異常気象も毎年のようにどこかで発生します、その度に避難所に逃れ当惑し、慣れない避難所での想定外の生活によるストレスなど、大変な思いをされています。

我々建築士も災害に強い建物を目指して建築しても、土地の立地条件（先祖から住んでいる場所を離れたくない）等々抱えきれない問題があります。我々建築士はいかに対処していくか考えさせられます。

被災者の方々、頑張ってください。又、地震によりお亡くなりになられた方々に、お悔やみ申し上げます。

(記・小松原寛俊)

士會奈良

通巻608号
平成28年7月1日(発行隔月1回1日発行)

発行所 一般社団法人 奈良県建築士会
〒630-8115 奈良市大宮町2丁目5-7 奈良県建築士会館
電話 0742-30-3111 FAX 0742-33-4333
<http://nara-kenchikushikai.or.jp/>
info@nara-kenchikushikai.or.jp

発行責任者 瀧上 徳光
編集 (一社)奈良県建築士会 情報・広報委員会
印刷所 株式会社 明新社

Calendar

2016年7月

- 1(金) 建築士の日
杭基礎の設計・施工の要点解説講習会
- 3(日) 二級建築士試験(学科)
- 14(木) 既存木造住宅の耐震診断・補強設計講習会(限界耐力計算)
- 18(月) ● 海の日
- 22(金) 平成28年度 第26回全国女性建築士連絡協議会 (23日まで)
- 24(日) 一級建築士試験(学科)
木造建築士試験(学科)
- 26(火) 平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業共同パネル展
(8月7日まで・奈良県立図書情報館)
- 27(水) 住宅相談会 (奈良県建築士会館)
- 30(土) 奈良市歴史的建造物建物調査

Calendar

2016年8月

- 3(水) 杭基礎の設計・施工の要点解説講習会
- 11(木) ● 山の日
- 15(月) 事務局お盆休業日 (13日~15日)
- 23(火) 第2期定期講習
(ホテルリガーレ春日野)
- 24(水) 住宅相談会 (奈良県建築士会館)
- 28(日) 奈良市歴史的建造物建物調査

重要なのは「今」の合格実績! 合格者数No.1の総合資格学院!!

平成27年 1級建築士 設計製図試験

奈良県
合格者占有率

No.1

奈良県 合格者占有率

57.5%

奈良県合格者40名中、当学院現役受講生23名
<平成27年12月17日現在>

他講習
利用者
+
独学者
当学院
現役
受講生

平成27年 2級建築士 設計製図試験

奈良県 合格者占有率

46.3%

奈良県合格者54名中、当学院現役受講生25名
<平成27年12月31日現在>

奈良県の合格者のおよそ2人に1人は、当学院の現役受講生!

※総合資格学院の合格実績には、模擬試験のみの受験生、教材購入者、無料の役務提供者、過去受講生は一切含まれておりません。※都道府県合格者数は、(公財)建築技術教育普及センター発表による。

法定講習 一級・二級 建築士定期講習 / 管理建築士講習
第一種電気工事士定期講習 / 監理技術者講習 / 宅建登録講習 / 宅建登録実務講習

法定講習サイト (検索)

開講講座 1級・2級 建築士 / 1級・2級 建築施工管理技士 / 1級・2級 土木施工管理技士 / 建築設備士
構造設計1級建築士 / 設備設計1級建築士 / 宅地建物取引士 / インテリアコーディネーター



総合資格学院

奈良校 TEL.0742-30-1511

奈良県奈良市西大寺栄町3-27 泉谷ビル 4F

<http://www.shikaku.co.jp>

総合資格

検索

Facebook 「総合資格 fb」で検索!

学院長 岸 隆司